

## 教育研究業績書

日付 2025年3月2日

氏名 高島 修

研究分野	研究内容のキーワード
金融経済	日本国内外の金融経済環境と市場動向、長期的な通貨戦略

### 授業・教育向け業績

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	PRJ該当	招待論文該当	概要
-	-	-	-	-	-	-

### 学術理論的研究業績

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	PRJ該当	招待論文該当	概要
脱デフレ環境下での外貨投資に関する一考察	単独	2024年8月	証券アナリストジャーナル			脱デフレ環境下で予想される日本の機関投資家、個人投資家の海外投資動向の変化について考察した。

### 実務的業績

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	PRJ該当	招待論文該当	概要
新型コロナ危機後の通貨戦略	単独	2021年2月	日本証券アナリスト協会			新型コロナ危機の通貨への影響と今後の展望について講演しました。
ポストコロナ資本主義と通貨価値	単独	2022年2月	日本証券アナリスト協会			近年の金融財政政策の潮流変化や政治環境の変化を踏まえ、今後の為替相場などの展望について講演しました。
構造的円安の背景と今後の展望	単独	2022年12月	政策分析ネットワーク			2022年に加速した円安の構造的な背景の分析と今後の展望に関する考察。2023年以降の長期的な為替相場展望
2022年の為替相場の振り返りと2023年の展望	単独	2023年1月	日本テクニカルアナリスト協会			2022年に加速した円安の背景の分析や2023年の為替相場展望
構造的円安の背景と今後の展望	単独	2023年2月	日本証券アナリスト協会			2022年に加速した円安の構造的な背景の分析と今後の展望に関する考察。2023年以降の長期的な為替相場展望
円安終焉の必要条件と十分条件	単独	2024年2月	日本証券アナリスト協会			過去数年の円安が終焉に向かうための金融経済的な条件について論じた。2024年以降の長期的な為替相場展望
逆回転に向かう構造的円安	単独	2024年4月	日本貿易会			長期化する円安を正当化するため構造要因が指摘されるが、祖の見方に関するリスクを指摘した。
2024年、2025年の為替相場展望	単独	2024年5月	日本テクニカルアナリスト協会			国内外の金融経済環境を踏まえ、当面の為替相場の展望について解説した。